

第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」リハーサル大会  
兼第 23 回全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会  
ソフトボール競技実施要領

## 1 競技規則

令和 6（2024）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

## 2 チーム

- (1) チームの編成は、監督 1 名、コーチ 2 名以内及び選手 15 名以内（男女は問わない）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手の人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め 15 名以内とする。

## 3 競技方法

- (1) 試合は佐賀県チームを除くトーナメント方式で行う。また、トーナメント戦以外に佐賀県チームを含めた交流戦を実施する。
- (2) 試合は 5 回制とし、試合開始後 80 分を経過した後は、新しい回に入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレークにより試合を延長して行う。ただし、延長は 2 回を限度とし、延長開始後 15 分を経過した後は、新しい回には入らない。それでも同点の場合は、最終回に出場していた選手 9 名（DP 制を採用した場合は FP 選手を除く）の抽選によって勝敗を決定する。
- (4) 3 回終了以降、10 点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断され、コールドゲームとなった場合は、3 回以上の回を終了していれば、正式の試合と認める（決勝戦を含む）。
- (5) ファーストピッチにより行う。
- (6) 競技場のフェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。
- (7) パスボール、振り逃げ、スクイズバント及び、盗塁は適用しない。
- (8) ピッチャーが投球したボールが、ホームベースを通過した時点でボールデッドとし、キャッチャーからの牽制、暴投による進塁など、その後のプレーは成立しない。
- (9) ランナーが帰塁を故意に遅らせた場合は、審判団から厳重に注意し、再度繰り返す場合は、審判団の判断で遅延行為によりランナーをアウトとする。
- (10) 指名選手（DP）及び再出場（リエントリー）を採用する。
- (11) 試合球は、公益財団法人日本ソフトボール協会検定ゴム製 3 号球とし、主催者が用意する。

## 4 服装等

- (1) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (2) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につけなければならない。監督は 30 番、コーチは 31 番と 32 番、主将は 10 番とし、他の選手は 1 番から 99 番の番号とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から 10cm 程度）に県・指定都市名を表示すること。
- (3) 打者・打者走者・走者、次打者及び 1・3 塁のベースコーチは、両耳あてのある同色のヘルメットを着用する。また、捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及び膝当て付きレガースを着用する。

(4) 金属製スパイクの使用は禁止する。

## 5 組合せ

組合せは、令和6（2024）年2月に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選の上、決定する。

## 6 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻の30分前までに5部作成し、競技本部へ提出する。ただし、第1試合は、開始式終了後に提出すること。なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。
- (2) 攻守の決定は、打順表提出時に審判員立会いのもと、コインのトスによって決定する。

## 7 開始式、表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

## 8 出場権

この大会の優勝チームは、第23回全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

## 9 その他

- (1) 監督会議は競技開始前に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、監督、コーチ、選手以外は入ることができない。ただし、チームスタッフとは別にトレーナー等を帯同しているチームは、1名ベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者に限る。このトレーナーは、実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。
- (4) 競技場内へは、主催者の許可を受けた者以外は立ち入ることができない。
- (5) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (6) 練習球は、各チームが用意する。
- (7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催において別途決定する。